

今日は授業参観、午後からは引き渡し訓練。余談だが、引き渡し訓練を初めていなべ市で始めた先生が本校に在籍している。20年以上も前のこと。今では市内の多くの学校で実施されている▼ところで、ある大学の先生からこんな逸話を聞いた。100歳になるおばあちゃんのために、孫やひ孫等親戚を100人集めて盛大にお祝いを開いた。おばあちゃんに、「うれしい？」と聞くと、「うれしいけど、100人が毎日一人ずつ会いに来てくれたほうがずっとうれしいよ。」▼授業参観のたびにこの話を思い出す。授業参観日を無くして、「随時参観可能」にしようかと思うが、これまで口に出したことはない。きっとこの考えを支持してくれる人もいないが、その哲学は根付いている。

「日常を大切にすること」「説明できないことはしない」授業参観はその延長上にある▼授業参観は子どもにとっても教師にとっても、いわば「ハレ」の日なのだ。昨日もがんばっていたけれども、今日もがんばる。日常を大切に続けるために「節目」は大切である▼節目には3つの意味がある「これまでの歩みを振り返る」「新しい目標を決める」「成長や変化のきっかけになる」▼「コツコツ」があるから「節目」を作ることができる。また「コツコツ」始める。▼「ハレ」の日のご馳走という言葉がある。今日のご馳走は、あなたの目に映った素敵な子どもの姿であってほしい。